

# 小野小学校

## 学校再開に向けた 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

令和2年6月

京都市立小野小学校

## 小野小学校新型コロナウイルス感染症対応の重点項目

- ・ 1日に2回の健康観察（朝・昼）
- ・ 手洗い、手指アルコール消毒の徹底（清潔なハンカチを必ず持たせる）
- ・ 保健管理だけでなく保健指導の両面からのアプローチ
- ・ 3つの「密」が生じないような環境整備，換気
- ・ 不特定多数の人が触る可能性のある共用部分の消毒

校 時 表（7校時）		小野小学校
朝の会	8:30～8:40	A健康観察
1校時	8:40～9:20	換気
2校時	9:20～10:00	換気
中間休み	10:00～10:20	
3校時	10:20～11:00	換気
4校時	11:00～11:40	換気
5分休憩	11:40～11:45	
5校時	11:45～12:25	換気
給食時間	12:25～13:10	
昼休み	13:10～13:30	C健康観察
6校時	13:30～14:10	換気
7校時	14:10～14:50	換気
終わりの会	14:50～15:00	

### 【基本的な流れ】

登校班で登校する際には、1年生とは手を繋かず、後ろから見守る。

#### A健康観察（朝）

●家庭からの健康観察表を回収し、☒の項目を確認する。

●健康観察表を持ってきていないときや未記入の場合は、体温を教室で計測する。基本的には教室で配布している体温計を使用して、検温をする。体温計は使用後アルコール綿で消毒を行う。

●児童が不調を訴えた場合は検温を行う。

●37度以上の発熱症状がある児童は保健室に隔離し、すぐに保護者に連絡をし、早退の手続きをとる。

●学校では通常、児童及び教職員はマスクを着用。

→マスクを忘れた児童には、マスクを保健室から渡す。

#### 授業時間中

●換気は40分の授業終了後には、必ず2箇所以上の窓あける。（5～10分程度）エアコン使用の後は特にしっかり換気をする。

●座席はまっすぐ1列に並べ、隣とは1～2m離す。コの字型や子どもが向かい合う配列は当面しない。

●学年集会など、学習を進めるために必要な場合は、事前に管理職に相談する。

●児童が集団で、近距離で、向かい合う活動は行わない。小グループによる話し合い活動も当面控える。

#### 休み時間

##### ◎外遊びに関して

・児童が密着、密接した遊びは避ける。（ドッジボールやサッカー、鬼ごっこはしてよい。）

・マスク着用する。しんどくなったらすぐに遊びをやめる。

- ・遊びの前後に必ず手洗いとアルコール消毒をする。
- ・総合遊具や雲梯、鉄棒、のぼり棒は当分の間使用しない。

#### ◎教室での遊びに関して

- ・当面の間、雨の日のトランプなどはしない。
- ・密接する遊びはしない。

#### 給食

##### ●給食当番

- ・手洗い、給食室前での手指アルコール消毒をする。
- ・給食を教室に運ぶ際、手すりなど周りのものに触れない。
- ・おかずの増減は教職員が行う。

##### ●当番以外

- ・全員必ず手洗いと手指アルコール消毒を行う。(B)指導の徹底

##### ●喫食時

- ・前を向いて(同じ方向を向いて)、会話は控えて食べる。
- ・机の形や向きは変えず、1～2m以上離して食べる。

##### ●片付け

- ・スプーンは担任が手に持ち、触れないようにする。
- ・ストロー(使用済)は袋にもどして、ストローごみ箱の袋にいれる。(とがった方を上にして、捨てる。)  
最後は担任がゴミ箱に捨てる。



＜ストローのゴミ箱＞



#### 清掃時間

- ・通常通り行う。
- ・ゴミ捨ては児童が行ってよいが、鼻をかんだティッシュなど、感染のおそれがあるゴミは教室で袋にいれて、捨てる。
- ・トイレ掃除は当分の間、中止とする。1週間に1回、教職員で清掃を行う。

#### C健康観察(昼)

- ・児童が倦怠感や呼吸器症状、頭痛等の症状を訴えた場合は検温を行う。
- ・37度以上の発熱症状がある児童は保健室に隔離し、すぐに保護者に連絡をして早退させる。

#### 【マスク】

- ◎基本的に終日マスクは着用。必ず記名すること。
- ◎管理の仕方(ティッシュや袋に包んで廃棄するなど)について指導する。

#### 【教科指導】

★共用する器具や用具、ICT機器を使用する場合は使用前後に手洗いと用具・機器の消毒を行う。

#### ◎体育

- ・密集・密接する運動や近距離で組み合ったり、接触したりする場面が多い運動は当面行わない。
- ・体育館の換気は体育の授業中、下の扉と窓を開放して行う。
- ・球技、マット運動、跳び箱など、多数の児童が同じものを触る可能性がある場合は授業前に手指アルコール消毒を必ず行う。

## ◎音楽

- ・歌唱指導やリコーダーや鍵盤ハーモニカ行うときは、換気をした上で人と人の間を離し、同じ方向を向いて行う。できれば歌唱指導は指導の時期を遅らせる。
- ・リコーダー・鍵盤ハーモニカ等は必要に応じて、水洗いをして清潔なハンカチ・ティッシュで拭くなど、正しく処理をする。
- ・共通の楽器を使用する場合は使用前後に消毒を行う。

## ◎家庭科

- ・調理実習は指導時期を遅らせる。
- ・ミシン等を使用するときは密接・密集とならないよう、気を付けて使用前後に器具の消毒を行う。

## ◎図画工作

- ・工具（金槌、のこぎり、カッター）は使用前後に消毒をする。また、活動前後に手指消毒も行う。

**★カリキュラムマネジメントによる指導順序の変更や教師による事前・事後指導を行い、その旨は週案にも反映する。**

## 【施設の消毒】

☆各クラスにアルコール消毒液と雑巾を配付する。

- ・共用するものや場所をアルコールで消毒する際に使用する。
- ・洗った後、窓際で干して、教室で管理する。



●教室の机・椅子やドアノブ等の手で触れる共有部分の消毒をする。

- ①学校全体の手すりやトイレの共有部分は放課後に養護教諭が行う。
- ②教室の机、椅子などは放課後にアルコールと雑巾を使って担任が行う。

## 【手指消毒】

●手洗いもしくはアルコールで手指消毒を徹底する。

→手洗いを基本とする。(①登校後 ②外から教室に入るとき ③トイレの後 ④給食の前後)

→各クラスに1つ手指消毒用のアルコールを配布する。

①朝 ②給食前 ③手で触わる作業(例：図書室で本を読んだ後)等のときとする。

●手をふくハンカチやタオルを必ずもたせる。共用はしない。 **全校で指導の徹底**

●学級で手洗いや咳エチケットについて保健指導を行う。(資料参照)



## 【保健室（隔離の仕方）】

- 発熱の児童が出た場合は、保健室の一角をパーテーションで隔離スペースとして区切り、休養させ、できるだけ早く帰宅させる。基本的には養護教諭が付き添う。使用したカバーは交換する。
- 発熱児童が休養している際に、ほかに来室児童がいた場合、基本的には保健室で処置を行う。
- 保健室は常に換気・消毒を徹底する。

